(仮称)倉吉福祉センター建設工事(機械設備)

図面リスト

図面番号	図　面　名　称	縮　尺
M－01	表紙・図面リスト	NO SCALE
M－02	特記仕様書(１)	NO SCALE
M－03	特記仕様書(２)	NO SCALE
M－04	附近見取図・全体配置図・特記事項	S=1/250
M－05	給排水設備　屋外配管図	S=1/200
M－06	給排水設備　１階配管図	S=1/100
M－07	給排水設備　２階配管図	S=1/100
M－08	給排水設備　衛生設備器具表　枡リスト	NO SCALE
M－09	冷暖房設備　１階配管図	S=1/100
M－10	冷暖房設備　２階配管図	S=1/100
M－11	冷暖房設備　冷暖房設備機器表	S=1/20
M－12	換気設備　　１階配管図	S=1/100
M－13	換気設備　　２階配管図	S=1/100
M－14	換気設備　　換気設備機器表	NO SCALE

TITLE	NAME	DATE	SCALE			
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（機械設備）	表紙・図面リスト	H25．5		代表設計者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作 担当者　　翼設備設計　竹田明義		共同企業体名称 匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　　一級建築士登録２９９６９号　村中耕作	01－M－14

機械設備工事仕様書

Ⅰ．工事概要

1　工事場所　倉吉市福吉町

2　建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	倉吉福祉センター棟	鉄骨造	2	1,192.12	(　　)項	
2	倉庫棟	木造	1	46.37	(　　)項	
3	歩廊棟	ｱﾙﾐﾆｳﾑ造	1	-	(　　)項	
4	自転車置場棟	鉄骨造	1	10.33	(　　)項	
5					(　　)項	

3　工事種目　（◉ 印の付いたものが対象工事種目）

工事種目＼番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
● 空気調和設備							
◉ 冷暖房設備	○						
◉ 換気設備	○						
● 排煙設備							
● 自動制御設備							
◉ 衛生器具設備	○						
◉ 給水設備	○	○					
◉ 排水設備	○	○					
◉ 給湯設備	○						
◉ ガス設備	○						
● 浄化槽設備							
● 消火設備							
● さく井設備							

4　設備概要　（本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。）

◉ 印の付いたものを適用する。

	項目		設備概要
空気調和・冷暖房設備	● 空気調和設備		● 単一ダクト方式　● 各階ユニット方式　● ダクト併用ファンコイルユニット方式
	◉ 冷暖房設備		● ファンコイルユニット方式　◉ パッケージ方式
	● 暖房設備		● 温水暖房　● 蒸気暖房　● 温風暖房（ ● 局所式　● 中央式 ）　● 床暖房
	◉ 熱源		◉ 電気　● 灯油　● Ａ重油　● ガス　● バイオマス
	◉ 主要熱源機器		● 鋼製ボイラー　● 鋳鉄製ボイラー　● 真空式温水発生機　● 無圧式温水発生器　● バイオマスボイラー ● チリングユニット　● スクリュー冷凍機　● 遠心冷凍機　● 吸収式冷凍機 ● 直だき吸収式冷温水機　● 小形吸収式冷温水機ユニット ◉ ヒートポンプパッケージエアコン　◉ ルームエアコン ● 温風暖房機　● ＦＦ暖房機　● ペレットストーブ
換気設備			● 第一種　● 第二種　◉ 第三種
排煙設備			● 機械排煙（ 適用法規 ● 建基法　● 消防法 ）
自動制御設備			● 電気式　● 電子式　● デジタル式
衛生設備	◉ 給水設備	給水方式	◉ 水道直結方式　● 高置水槽方式　● ポンプ直送方式　● 増圧給水方式
		水源	◉ 水道水　◉ 井水
	◉ 排水設備	排水方式	◉ 自然流下　● ポンプ排水（ ● 汚水　● 雑排水　● 雨水 ）
		放流先 汚水	◉ 公共下水道　● 浄化槽　● 敷地内最終処理施設
		放流先 雑排水	◉ 公共下水道　● 浄化槽　● 敷地内最終処理施設
		放流先 雨水	● 公共下水道　◉ 側溝　● 河川
		浄化槽処理施設	● 小規模合併　● 合併
		処理水放流先	● 排水路　● 側溝　● 河川
	◉ 給湯設備		◉ 局所式（ ◉ ガス　● 油　● 電気 ）　● 中央式（ ● 油　● ガス ）
	● 消火設備		● 屋内消火栓　● 屋外消火栓　● 連結送水管　● 連結散水　● スプリンクラー ● 泡消火　● 粉末消火 ● 不活性ガス消火（ ● 窒素　● 窒素系　●　　）
	◉ ガス設備		● 都市ガス（　　MJ/Nm³ ）　◉ 液化石油ガス

Ⅱ．特記仕様

1　一般事項

（1）現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成２２年版）」（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成２２年版）」（以下「標準図」という。）による。ただし、改修工事については「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成２２年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

（2）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（平成２２年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。

（3）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2　特記事項

（1）項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。

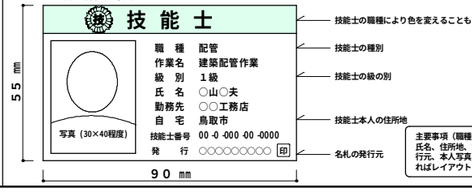
（2）特記事項のうち選択する事項は ◉ 印の付いたものを適用する。

◉ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。◉ 印と㊟ 印の付いた場合は両方を適用する。

（3）一般共通事項のうち（　　）項は、● 建築　● 電気設備　工事仕様書による。

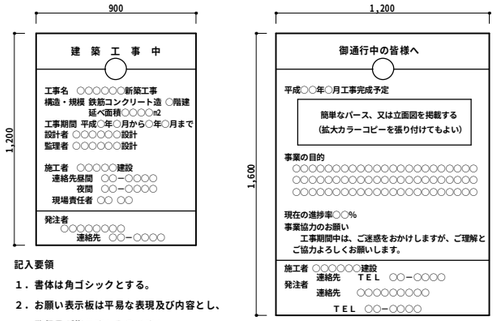
	項目	特記事項
一般共通事項	① 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
	２ 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第５条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第１編第１章第３節１．３．２によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。
	③ 工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。
	④ 発生材の処理等	引渡しを要するもの　※ 無し　● 有り（　　） 特別管理産業廃棄物　※ 無し　● 有り（　　） アスベスト含有設備資機材（ガスケット、パッキン、たわみ継手等）は関係法令に従い適切に処理を行う。 再生資源の利用を図るもの ※ 無し　● 有り（ ● コンクリート塊　● アスファルトコンクリート塊　● 建設発生木材　●　　）
	⑤ 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。また、製造者が定められている機材については、Ⅲ．機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。 なお、（社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	⑥ 機材の品質・性能証明	ＪＩＳマーク等のある機材を使用する場合は、標準仕様書第１編第１章第４節１．４．２（ｃ）により、品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。
	⑦ 施工図等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
	⑧ 完成写真等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真の撮り方（改訂第３版）建築設備編」によるほか監督職員の指示による。下記のものを提出する。 区分：工事写真／完成写真　分類・規格：カラーサービス判　撮影箇所：各工種工程毎／監督職員の指示による　部数：※ １部 ● 部／※ ２部 ● 部　電子データ・ネガの提出：● 要 ● 不要
	⑨ 完成図等	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。 ※ 完成図原図：完成図　※ 原紙　※ ＣＡＤデータ／施工図　● 原紙　● ＣＡＤデータ　１部 ※ 完成図　２つ折製本：※ 完成図原図の陽画複写紙／※ 完成図原図の陽画複写紙（縮小版）／● 施工図原図の陽画複写紙　※ ３部　● 部 ※ 完成図　２つ折製本　※　Ａ４版黒表紙製本　●　Ａ４版市販ファイル：※ 完成図原図の陽画複写紙／※ 主要機器図／※ 試験成績書　※ ２部　● 部 ※ 保守用説明書（Ａ４版ファイル）：※ 保守に関する指導案内書／※ 機器取扱説明書／※ 主要機器一覧表　※ ２部　● 部 ※ 保証書　１部 ※ 官公署の届出書類　１部
	⑩ 技能士の適用	下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、１名以上の者が自ら作業をするとともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。また、その技能士はそのものが技能士であることが分かる名札（下図参考）を常時着用すること。 ◉ 配管　（◉ １級　● ２級 ）　◉ 熱絶縁施工　（ ● １級　◉ ２級 ） ◉ 冷凍空気調和機器施工　（◉ １級　● ２級 ）　● 建築板金　（ ● １級　● ２級 ）

《技能士名札参考図》



一般共通事項

⑫ 他工事との取合	他工事との取り合い	建築 / 電気設備 / 機械設備
	◉ コンクリート壁、床、梁貫通部　スリーブ・箱入	● / ● / ※
	補強	※ / ● / ●
	◉ 鉄骨造の開口及び補強	※ / ● / ●
	● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くぎ処理共）	● / ※ / ●
	● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地	● / ※ / ●
	● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強　仮枠	● / ※ / ●
	補強	※ / ● / ●
	● ＯＡフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強	※ / ● / ●
	◉ 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強　切り込み	● / ● / ※
	補強	※ / ● / ●
	● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ	※ / ● / ●
	● 電気室、自家発電室などの基礎及びピット（蓋を含む）	※ / ● / ●
	● テレビアンテナ　基礎	※ / ● / ●
	アンカーボルト	● / ※ / ●
	◉ 天井点検口	※ / ● / ●
	◉ 機器類のコンクリート基礎　屋内・屋外設置	● / ● / ※
	屋上設置	※ / ● / ●
	● 自立型制御盤の基礎	● / ※ / ●
	● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線	● / ● / ※
	◉ 機器用コントロールスイッチ（空調機、給湯器等）の取付及び配線	● / ● / ※
⑬ 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用はすべて請負者の負担とする。官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。	
⑭ 表示板	設ける。（寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一括して表示する。） ※ 工事表示板　● お願い表示板	



記入要領

１．書体は角ゴシックとする。

２．お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。

⑮ 工事用仮設物	構内に作ることが　※ 出来る　● 出来ない	
⑯ 足場	足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省 基発第0424001号平成21年４月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。	
⑰ 土工事	（ア）埋め戻し土　◉ 根切土のなかの良質土（ ● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類 ） ◉ 山砂の類（　　） ● 真砂土（　　） （イ）建設発生土処分　◉ 構外に搬出　● 構内に敷ならし　● 構内の指示する場所に堆積	
17 耐震措置	設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」（平成８年版）（建設大臣官房官庁営繕部監修）によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・(独)建築研究所監修）による。 建物の種別　● 特定の施設　● 一般の施設 重要機器　● 防災機器　● 火気を使用する機器　● タンク類	
⑱ 図形等の表示	機器類は、図示する形状、配管等などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。	
⑲ 電気容量及び機器表示	電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。 機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。	
20 機器附属の制御盤	● 製造者標準仕様とする　● 機器表特記による	
㉑ 保温工事	● 冷温水管（ ● ロックウール　● グラスウール　● ポリスチレンフォーム　●　　） ● 蒸気管（ ● ロックウール　● グラスウール　●　　） ● ブライン管（ ● ポリスチレンフォーム　●　　） ◉ 給水管（ ● ロックウール　● グラスウール　◉ ポリスチレンフォーム　●　　） ◉ 排水管（ ● ロックウール　● グラスウール　◉ ポリスチレンフォーム　●　　） ◉ 給湯管（ ● ロックウール　◉ グラスウール　●　　） ● 消火管（ ● ロックウール　● グラスウール　● ポリスチレンフォーム　●　　） ◉ ダクト（ ● ロックウール　◉ グラスウール　●　　） ※ 燃焼熱源等機械室内の配管の保温材には、（ ● ロックウール　● グラスウール ）を使用する。 ● 全熱交換機の給気ダクト（ ● 機器外気側　● 機器室内側 ）は保温（グラスウール２５㎜厚）する。	

TITLE	NAME	DATE	SCALE	代表設計者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作	共同企業体名称	
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（機械設備）	特記仕様書（１）	Ｈ２５．５		担当者　　翼設備設計　竹田明義	匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　一級建築士登録２９９９６９号　村中耕作	02－M－14

一般共通事項

㉗	塗装	各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。（さび止め塗装は除く。） (ア)埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く） (イ)亜鉛めっき以外のめっき仕上げ鋼 (ウ)亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 (エ)亜鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類 (オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分 (カ)カラー亜鉛鉄板面 (キ)アルミニウム、ステンレス、銅、溶融アルミニウム－亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装に必要を認められない面 (ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面 (ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管 ● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所（　　）
㉘	鋼管類の防食処置	地中埋設 ◉ ペトロタラム系 ● プチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート
24	絶縁継手	※ 絶縁フランジ ● 標準図（施工３）による
25	防振継手	※ 合成ゴム製（球形） ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ベローズ形（ステンレス製）
㉙	伸縮管継手	※ ベローズ形 ● スリーブ形
㉚	ねじ加工	塩ビライニング鋼管等の防食措置を施した配管以外 ※ 切削ねじ ● 転造ねじ 呼び径５０以下のポリ粉体鋼管 ※ 切削ねじ ● 転造ねじ
28	ステンレス鋼管の接合方法	呼び径７５Ｓ以上の継手は ● 溶接継手 ● ハウジング形継手 ● フランジ接合
29	溶接配管の検査	非破壊検査の適用（ ● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ） 抜取率（ ● 標準仕様書による ● 　　）
㉛	埋設表示	◉ 地中埋設標を図示する箇所に設ける。 ◉ 埋設表示用テープを埋設する。（ ● ガス管 ◉ 屋外給水管 ● 　　）
㉜	支持金物・固定金具	ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはステンレス製とする。 屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。
㉝	総合調整	下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。 ◉ 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質 ● 風速 ● じんあい ● 飲料水水質（ ● 一般飲料水適否検査 ● 　　）
㉞	補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。
㉟	はつり工事	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
35	室内空気中の化学物質の濃度測定	実施する。
㊱	火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするための火災保険等に加入する。 （保険の加入期限は、工事完成引渡しまでとする。
37	グリーン購入	グリーン購入は次のもとのする。 ● 空調用機器（　　） ● 衛生器具（　　） ● 断熱材（　　） ● 配管材（ ● 再生硬質塩化ビニル管 ）
38	鳥取県公共工事環境配慮指針	対象工事
39	省エネ法	対象工事

1 空気調和設備 ② 冷暖房設備 ③ 換気設備

①	設計用温湿度条件	外気条件：夏季 34.9 ℃ 　 % / 冬季 −0.3 ℃ 　 %（温度 (DB) ／湿度 (RH)） 室内（調整目標値）一般：夏季 温度 28.0 ℃ 湿度 50.0 %／冬季 温度 19.0 ℃ 湿度 40.0 % 室内（調整目標値）（　）：夏季 温度 ℃ 湿度 %／冬季 温度 ℃ 湿度 %
2	冷却水管	※ ＳＧＰ（白） ● ＳＧＰ－ＶＡ ● ＳＧＰ－ＰＡ
3	冷水・温水・冷温水管	※ ＳＧＰ（白） ● ＳＧＰ－ＨＶＡ ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）
4	膨張・空気抜・補給水管	※ ＳＧＰ（白） ● ステンレス鋼管
5	蒸気給気管	※ ＳＧＰ（黒）
6	蒸気還水管	※ ＳＴＰＧ３７０－Ｓｃｈ４０（黒） ● ステンレス鋼管
7	油・油用通気管	一般配管 ※ ＳＧＰ（黒） 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管
⑧	冷媒管	※ 断熱材被覆銅管
9	ブラインド管	※ ＳＧＰ（黒）
10	空調用給水管	※ 給水設備の項による
⑪	空調用排水管	※ ＳＧＰ（白） ◉ ＶＰ
12	弁類	※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ ● ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ
13	ファンコイルユニット	※ 流量調整弁 ● 定流量弁（ ● ダイヤフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形 ）を取付ける。
14	防煙ダンパー	防煙ダンパー ※ 電気式 ● 空気式 ダンパーの復帰機構 ※ 遠隔式 ● 手元式 電気式防煙ダンパーの動作用電圧、電流はＤＣ２４Ｖ、０．７Ａ以下とする。
⑮	ダクト	※ 低圧ダクト ● 高圧１ダクト ● 高圧２ダクト 長方形ダクト ※ コーナーボルト工法（ ● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法 ） 長辺１５００㎜を超えるもの ※ アングルフランジ工法 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後１５０㎜を１．６㎜厚鋼板製とする。
16	吹出口・吸込口	ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製
17	チャンバー等	シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工４７）を参考とする。 接続するダクトが施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 線状吹出口には、（長さ＋１０）× ３００ × ３００Ｈの接続チャンバーを設ける。 外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。
18	消音内貼り	吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー類に内貼する。 内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。 吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口（原則４００×６００）を取付ける。
19	瞬間流量計及び流量測定口	形式はピトー管式（コック付）とする。 ● 着脱式 ● 固定式 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 ● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷温水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ユニット形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング
20	定風量・変風量ユニット	● メカニカル形 ● 風速センサー形
21	温度計	機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付Ｌ形温度計
22	冷温水管の空気抜き	空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 ※ 手動 ● 自動 自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工３６（ｇ）） 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から２ｍの範囲とする。
23	空調機用トラップ	トラップ形式 ※ ＦＲＰ製保温型 ● ＦＲＰ製 ● ＳＵＳ製
24	煙道	材質及び厚さ ● ＳＳ４００（※ ３．２㎜ ● ４．５㎜ ） ● ＳＵＳ（※ １．５㎜ ● ２．０㎜） 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口（８０φ×２） ※ 取付ける ● 取付けない
25	オイルサービスタンク	油面計はゲージ式（側圧計）とする。
26	地下オイルタンク	掘付け方法は標準図 ● 施工３０（タンク室有り） ● 施工３１（二重殻タンク・タンク室無し） タンクの保護被覆 ※ エポキシ樹脂 ● 強化プラスチック 基礎杭 ※ 不要 ● 要（※ 別途工事 ● 本工事 ） 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。
27	フィルター等付属品	● 機器表特記による。 ● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は１本、ユニットの場合は１セットを付属品として納入する。
28	防振基礎	送風機の防振基礎 防振材（ ● ゴム ● 金属バネ ）
29	防振吊り及び支持金物	標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。

4 排煙設備

1	ダクト	※ 亜鉛鉄板製 ● 鋼板製（１．６㎜）
2	排煙口	形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形 取付け ● 天井取付 ● 壁取付 開放装置 ● 手動 ● 手動及び遠隔操作の可能なもの

5 自動制御設備

1	中央監視制御盤装置	● 有り（構成機能は、図示による） ● 無し
2	電源装置	● 要（ ● 本工事 ● 別途工事 ） ● 不要
3	温度調節器等	取付高さ ※ １３００㎜ ● 　　㎜
4	接地工事	盤までの接地工事 ※ 別途電気設備工事 ● 本工事

⑥ 衛生器具設備

①	大便器	※ 節水形 ● 標準形
②	小便器	◉ 自動洗浄（ＡＣ１００Ｖ電源） ● 標準形
③	洗面器具用自動水栓	電源供給方式 ※ ＡＣ１００Ｖ ● 乾電池 ● 自己給電
4	和風便器の耐火処理	標準図（施工６５）の ※（２） ●（１）

⑦ 給水設備

①	量水器	◉ 親メーター ※ 借用 ● 買取 （※ 直読 ● 遠隔表示 ） ● 子メーター ※ 買取 ● 借用 （※ 直読 ● 遠隔表示 ）
②	配管材料	(ア)一般配管 ● ＳＧＰ－ＶＢ ● ＳＧＰ－ＰＢ ● ステンレス鋼管 ◉ ＨＩＶＰ ● 架橋ポリエチレン管 (イ)土間下配管 ● ＳＧＰ－ＶＤ ● ＳＧＰ－ＰＤ ◉ ＨＩＶＰ (ウ)屋外埋設配管 ● ＳＧＰ－ＶＤ ● ＳＧＰ－ＰＤ ◉ ＨＩＶＰ ● 水道配水用ポリエチレン管（７５～１００Ａ） ● 水道用ポリエチレン二層管（５０Ａ以下） (エ)特記なき給水管の最小口径は20Ａとする。 (オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。）
③	弁類	※ 口径６５Ａ以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。 ● ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ（受水槽以降の配管に使用） ◉ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ（公営水道に直結する配管に使用） ◉ 公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用）
4	水槽の保温	鋼鈑製、ステンレス製水槽の保温を施工する。

⑧ 排水設備

①	配管材料	(ア)屋内汚水管 ◉ ＶＰ ● ＲＦ－ＶＰ ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 (イ)屋内雑排水管 ◉ ＶＰ ● ＲＦ－ＶＰ ● ＳＧＰ（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 (ウ)ポンプ排水管 ● ＶＰ（水道用） ● ＨＩＶＰ ● 排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水鋼管用可とう継手） (エ)通気管 ◉ ＶＰ ● ＲＦ－ＶＰ ● ＳＧＰ（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管 (オ)屋外排水管 ● ＶＰ ● ＲＦ－ＶＰ ◉ ＶＵ（地中） ● ＲＥＰ－ＶＵ（地中） ● ＲＳ－ＶＵ（地中） ● 卵形管 ● コンクリート管
2	満水試験継手	3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない
③	パイプシャフト内配管の保温	※ 施工する ● 施工しない
④	煙試験	※ 行なわなくてもよい ● 図示の系統のみ行なう

⑨ 給湯設備

①	配管材料	◉ ＳＧＰ－ＨＶＡ ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管 ● 保温付被覆銅管 ● 銅管 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。
2	弁類	※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ ● ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ

10 消火設備

1	配管材料	(ア)一般配管 ● ＳＧＰ（白） ● ＳＴＰＧ (イ)土間下配管 ● ＳＧＰ－ＶＳ ● ＳＴＰＧ－ＶＳ (ウ)屋外埋設配管 ● ＳＧＰ－ＶＳ ● ＳＴＰＧ－ＶＳ
2	弁類	※ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ● ＪＩＳ又はＪＶ１６Ｋ
3	保温	(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する (イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する (ウ)配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別ｅ３・（ハ）・Ｖによる） ● 屋内消火栓用（　　） ● スプリンクラー用（　　） ● 連結送水用（　　） ● 連結散水用（　　）
4	屋内消火栓箱	● 屋内消火栓 ● 易操作性１号消火栓 ● ２号消火栓
5	ガス系消火剤の種類	● 窒素 ● ＩＧ－５４１ ● ＩＧ－５５ ● ＨＦＣ－２２７ｅａ ● ＨＦＣ－２３
6	ガス系消火の起動方式	※ 手動 ● 自動手動切替式

⑪ ガス設備

①	配管材料	(ア)一般配管 ※ ＳＧＰ（白） ● 合成樹脂被覆銅管 (イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆銅管 (ウ)屋外埋設配管 ※ 合成樹脂被覆銅管 ● ガス用ポリエチレン管
②	ガスメータ	◉ 親メーター ※ 借用 ● 買取 （取付け ※ 別途 ● 本工事 ） ● 子メーター ※ 買取 ● 借用 （取付け ※ 本工事 ● 別途 ）
③	容器廻りの配管	● 標準図（施工７１）の ● 要領（ａ） ● 要領（ｂ） ● 要領（ｃ）
④	容器転倒防止	● 標準図（施工７２）の ● 要領（ａ） ● 要領（ｂ）
⑤	ガス漏れ警報器	● 不要 ◉ 要（※ 別途工事 ● 本工事 ）
6	絶縁継手	● 不要 ● 要
7	その他	都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。

12 浄化槽設備

1	処理種別及び方式	● 小規模合併処理（ ● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式 ● その他性能評価を受けた方式（　　） ● 合併処理 （ ● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式 ）
2	処理能力	● 処理対象人員＿＿人 ● 処理水量＿＿㎥／ｄ
3	放流水の水質	● 流入ＢＯＤ ２００ｍｇ／Ｌ ● 放流水質ＢＯＤ ２０ｍｇ／Ｌ以下 ● Ｔ－Ｎ＿＿ｍｇ／Ｌ以下 ● Ｔ－Ｐ＿＿ｍｇ／Ｌ以下
4	排水方式	※ 自然流下 ● ポンプ排水
5	マンホールふた	※ 製造者標準仕様（ロック式） ● ＭＨＡ型（ボルト式）
6	埋戻し土	● 砂 ● 根切土の中の良質土
7	土留め工事	● 不要 ● 要（図示による）
8	消毒薬	３ヶ月相当分を納入する。

Ⅲ．機材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き原則として標準仕様書に規定するもの及び（社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。

ただし、下記表の品目は、上記によるほか下記表に掲げる製造業者とする。

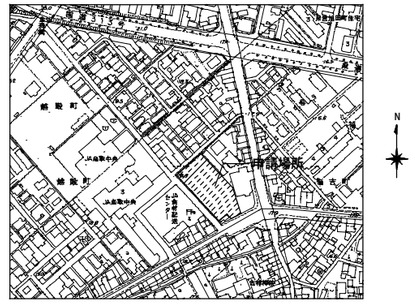
品目	製造業者
衛生器具・付属品・水栓類	ＪＩＳマーク表示品 ＪＩＳマークが無いものについては ＴＯＴＯ ＩＮＡＸ ジャニス工業
製缶類	島倉鉄工 ホーコス 中国金属 森松工業 家森鉄工

特 記 事 項

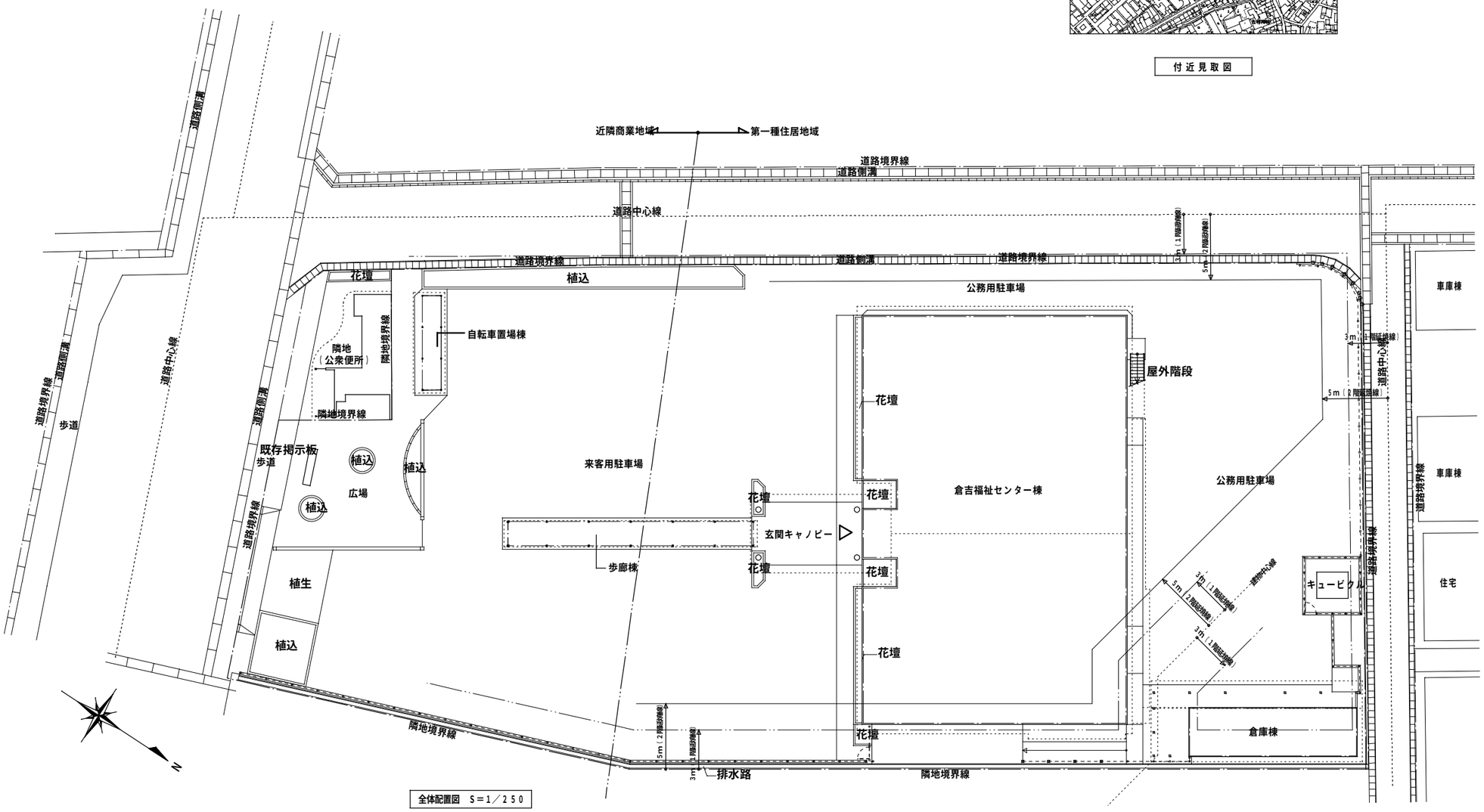
1、図面の▨ 部分は埋設表示を示す。

2、給気ダクトは防露工事を行うこと。

3、埋設配管の上下１００ｍｍは、砂にて配管保護を行うこと。



付近見取図



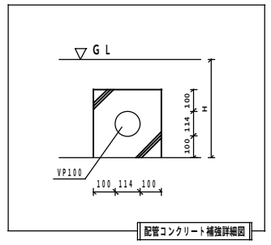
全体配置図 S＝1／250

TITLE	NAME	DATE	SCALE			
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（機械設備）	付近見取図・全体配置図	H25．5	A2 1/250 A3 1/354	代表設計者 （一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作 担当者 翼設備設計 竹田明義		

共同企業体名称
匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体
代表者 有限会社 匠建築設計事務所 鳥取県倉吉市八屋２１５ TEL:0858-26-5672 FAX:0858-26-7799
一級建築士事務所登録 第２５－４６８号 一級建築士登録２９９９６９号 村中耕作

04 M 14

止水栓	４０　ボックス共（既存）
量水器	４０φ　ボックス共（既存）
補助ボールバルブ	４０（新設）
同上ＢＯＸ（新設）	



配管コンクリート補強詳細図

市道越殿町金森線　幅員７．４３ｍ

側溝放流

側溝放流

電柱

花壇

外灯

既存公衆トイレ

自転車置場棟

バス停

外灯

既存掲示板

広場

既存電柱

歩廊棟

エントランス

DBV50

倉吉福祉センター棟

1階配管図による

キューピクル

ゴミ置場2

ゴミ置場1

配管コンクリート補強

公共桝 200φ×1400以上（別途工事）

VP100

VP100

VP75

VP75

UP

車庫棟

車庫棟

住宅

道路

住宅

市道福吉町3号線 幅員3.64m

倉庫棟

洗濯機用～4ヶ所

室外機置場

側溝放流

井戸ポンプ

側溝放流

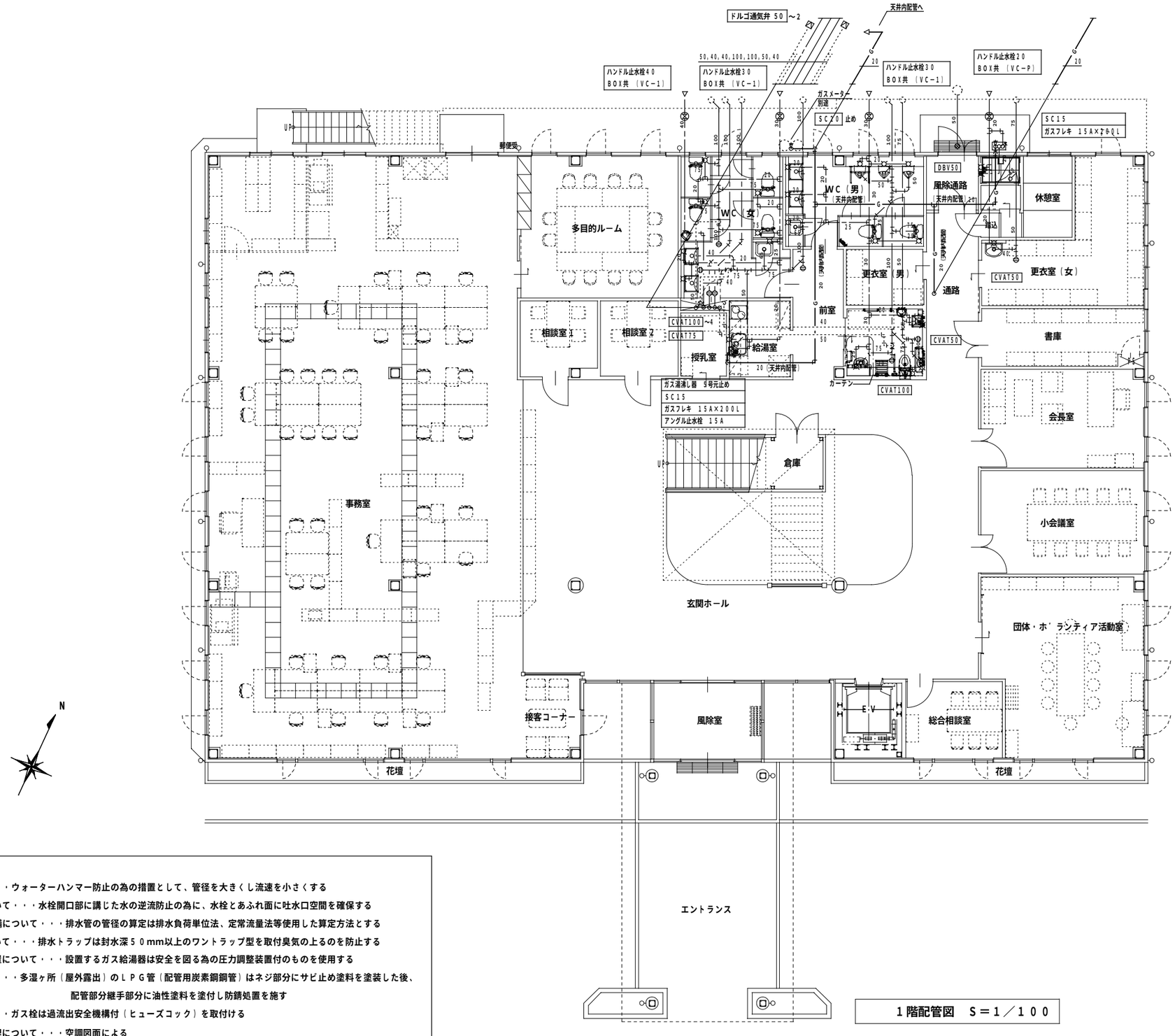
ホームポンプユニット

ハンドル止水栓40 BOX共（VC－1）

N

屋外配管図　S＝1／200

TITLE （仮称）新倉吉福祉センター建設工事（機械設備）	NAME 給排水設備　屋外配管図	DATE H25．5	SCALE A2　1／200 A3　1／282	代表設計者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作 担当者　　翼設備設計　竹田明義		共同企業体名称 匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　　一級建築士登録２９９９６９号　村中耕作	05－M－14

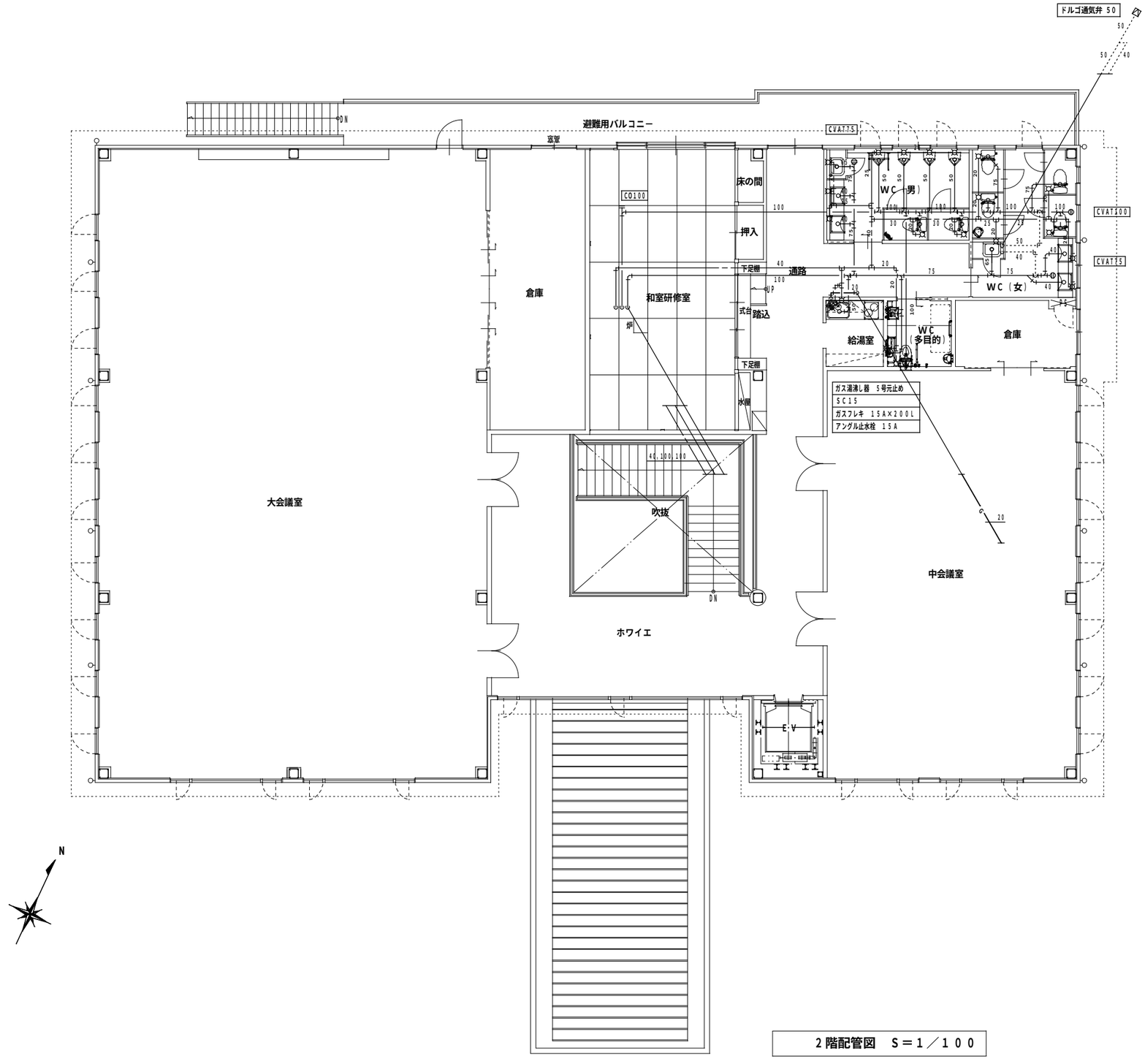


1階配管図　S＝1／100

特記事項

① 給水管について・・・ウォーターハンマー防止の為の措置として、管径を大きくし流速を小さくする
② 飲料水の配管について・・・水栓開口部に講じた水の逆流防止の為に、水栓とあふれ面に吐水口空間を確保する
③ 排水の為の配管設備について・・・排水管の管径の算定は排水負荷単位法、定常流量法等使用した算定方法とする
④ 排水トラップについて・・・排水トラップは封水深50mm以上のワントラップ型を取付臭気の上るのを防止する
⑤ 給湯設備の安全装置について・・・設置するガス給湯器は安全を図る為の圧力調整装置付のものを使用する
⑥ 腐食防止について・・・多湿ヶ所（屋外露出）のＬＰＧ管（配管用炭素鋼鋼管）はネジ部分にサビ止め塗料を塗装した後、配管部分継手部分に油性塗料を塗付し防錆処置を施す
⑦ ガス栓について・・・ガス栓は過流出安全機構付（ヒューズコック）を取付ける
⑧ 防火区画貫通部処理について・・・空調図面による

TITLE	NAME	DATE	SCALE			
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（機械設備）	給排水設備　1階配管図	H25.5	A2 1／100 A3 1／141	代表設計者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作 担当者　翼設備設計　竹田明義		共同企業体名称 匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　一級建築士登録２９９６９号　村中耕作	06 M 14



2階配管図 S＝1／100

TITLE （仮称）新倉吉福祉センター建設工事（機械設備）	NAME 給排水設備 2階配管図	DATE H25.5	SCALE A2 1／100 A3 1／141	代表設計者 〔一級建築士登録２９９９６９号〕村中耕作 担当者 翼設備設計 竹田明義		共同企業体名称 匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者 有限会社 匠建築設計事務所 鳥取県倉吉市八屋２１５ TEL:0858-26-5672 FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録 第２５－４６８号 一級建築士登録２９９６９号 村中耕作	07 M 14

衛生設備器具表

品名	品番	仕様	1階 WC男	1階 WC女	1階 WC多目的	1階 給湯室	1階 シャワー室	1階 更衣室（女）	2階 WC男	2階 WC女	2階 WC多目的	2階 給湯室	倉庫棟	屋外	計
洋風大便器	CS220B	SH220BAS，TCF116	2	4					2	4					12
洋風大便器	CS597B≠NW1	SH596BA≠NW1，TCF4721V81W，TCA88，T11D15，EWC386C≠NW1			1						1				2
小便器	UFS800C	AB660K	3						4						7
棚付二連紙巻器	YH60N		2	4					2	4					12
棚付二連紙巻器	YH702				1						1				2
可動式手すり	T112HK7	T110D17R はね上げ			1						1				2
手すり	T112CL11	T110D3R～3 L型			1						1				2
小便器用手すり	T112CU2	T110D3R～4	1						1						2
掃除流し	SK22A	T23AE20 C，T37SEP，TN114，T9R，TK22	1	1					1	1					4
ベビーチェアー	YKA13	YPH62017W3，YPH62013	1	1					1	1					4
マーブライトカウンター	ML45C1800CNX11W	L350C～2，TEN41A～2，T7PW1～2，M9LASJ～2 M9LBSJ，YM4560FA～2	1	1					1	1					4
埋込手洗器	LSE570AS				1						1				2
壁掛洗面器	LSE120BAPL1				1						1				2
化粧鏡	YMK51K	360×1100			1						1				2
化粧棚	YKH50A				1						1				2
壁掛小型洗面器	L210D	TLS11，T6BMP，TL340CRU，TL250D						1							1
耐食鏡	YM4560F	450×600						1							1
ベビーチェアー	YKA13	YPH62017W3			1						1				2
収納式多目的シート	EWC520AS				1						1				2
フィッティングボード	YKA40				1										1
幼児用手すり	YYB10	T110D3R～2 I型			1										1
オストメイト	UAS73LDB	UTR138R			1										1
チャームボックス	YKB104				1										1
フック	YKH22			1	1					1	1				4
流し台	別途	（T4BU×2・・・本工事）				1						1			2
ガス湯沸器	5号元止め					1						1			2
シャワーユニット	JSV0812LW7AK	IKKC5，SSGGS （別途建築工事）					1								1
ガス給湯器	GQ-2437WS	RC-7606M，M8A，H33-K（450） 24号給湯タイプ												1	1
地下式散水栓	T27NH13	B3-B												8	8
水栓柱	13φ×900H												1	1	2
万能ホーム水栓	T200SNR13												1	1	2
ガーデンパン	650型													1	1
洗濯用水栓	TW11R												4		4
深井戸水中ポンプ	25TWS-6.37S-5（セット）	25A×200L/m（n×20m×0.37kw-10ポーブル30m他一式												1	1
		ホームポンプユニット基礎 RC製 450×400×150H（地上部）													
ガス漏警報器		LPG用				1						1			2

汚水桝リスト （小口径桝）

記号	寸法 φ	深さ H	上部フタ	
①	150	400	小口径塩ビ製	トラップ付
②	〃	450	〃	
③	〃	490	〃	
④	〃	500	〃	
⑤	〃	580	〃	
⑥	〃	620	〃	45Y段差
⑦	〃	680	〃	
⑧	〃	720	〃	
⑨	〃	770	〃	45Y段差
⑩	〃	810	〃	45Y段差
⑪	〃	1040	〃	
⑫	〃	1210	防護ハット（T-20）	

H＝参考高さ

雨水桝リスト （小口径桝）

記号	寸法 φ	深さ H	上部フタ
Ⓐ	150	200	塩ビ製
Ⓑ	〃	260	〃
Ⓒ	〃	300	〃
Ⓓ	〃	380	〃
Ⓔ	〃	280	〃
Ⓕ	〃	320	〃
Ⓖ	〃	200	〃
Ⓗ	〃	260	〃
Ⓘ	〃	340	防護ハット（T-8）
Ⓙ	〃	410	〃
Ⓚ	〃	290	塩ビ製
Ⓛ	〃	340	〃
Ⓜ	〃	380	〃
Ⓝ	〃	280	〃
Ⓞ	〃	320	〃
Ⓟ	〃	350	〃
Ⓠ	〃	400	〃
Ⓡ	〃	200	防護ハット（T-20）
Ⓢ	〃	240	〃
Ⓣ	〃	300	塩ビ製
Ⓤ	〃	350	〃
Ⓥ	〃	200	〃
Ⓦ	〃	260	〃
Ⓧ	〃	330	防護ハット（T-8）
Ⓨ	〃	400	〃
Ⓩ	〃	280	塩ビ製
Ⓐ1	〃	330	〃
Ⓑ2	〃	370	〃

H＝参考高さ

TITLE （仮称）新倉吉福祉センター建設工事（機械設備）

NAME 給排水設備 衛生設備器具表 桝リスト

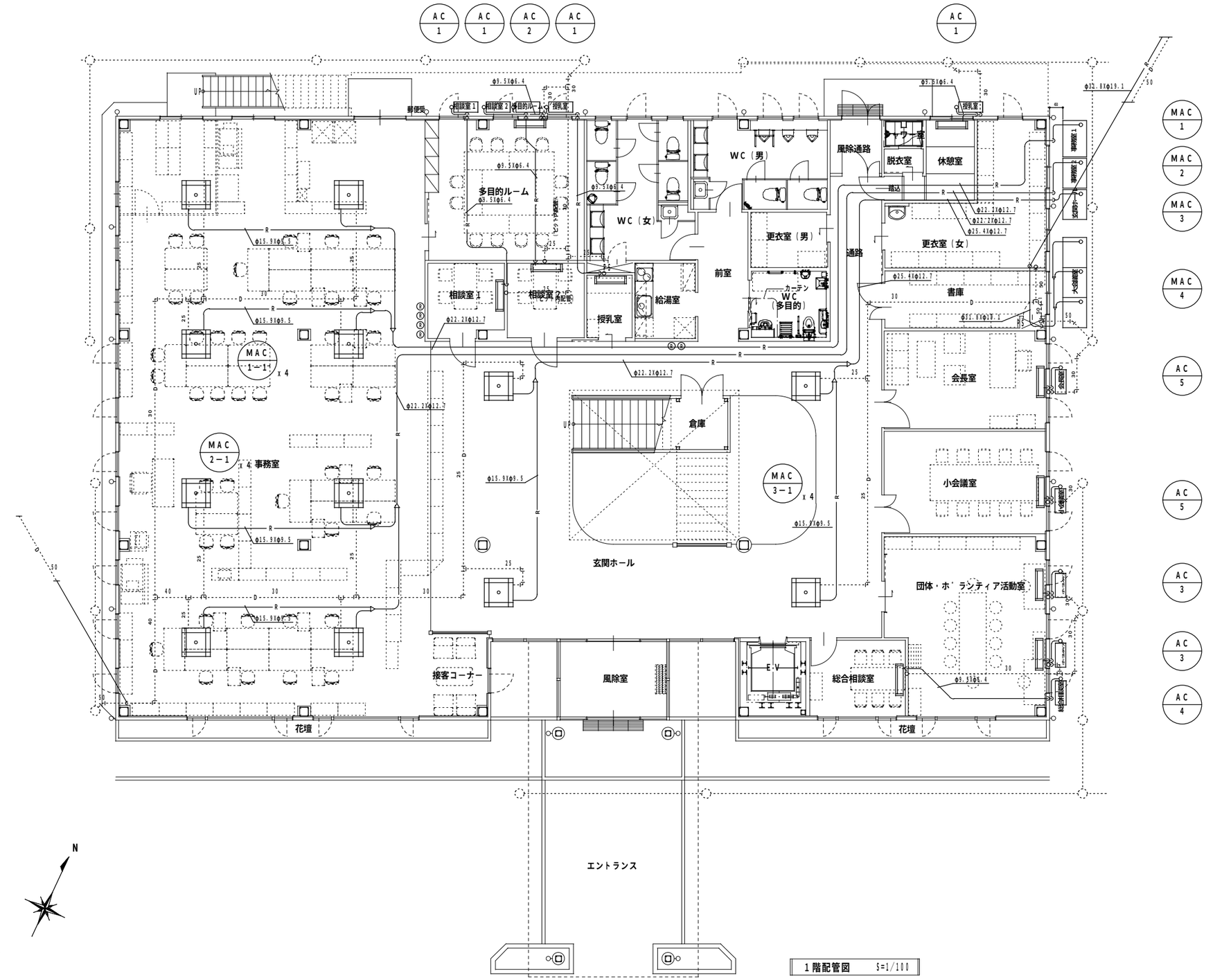
DATE H25.5

SCALE NO SCALE

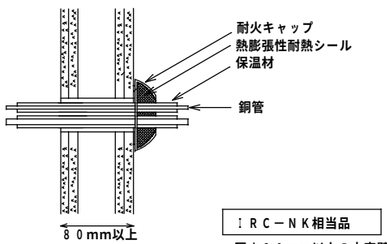
代表設計者 （一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作

担当者 翼設備設計 竹田明義

共同企業体名称
匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体
代表者 有限会社 匠建築設計事務所 鳥取県倉吉市八屋２１５ TEL:0858-26-5672 FAX:0858-26-7799
一級建築士事務所登録 第２５－４６８号 一級建築士登録２９９６９号 村中耕作



1階配管図　S=1/100

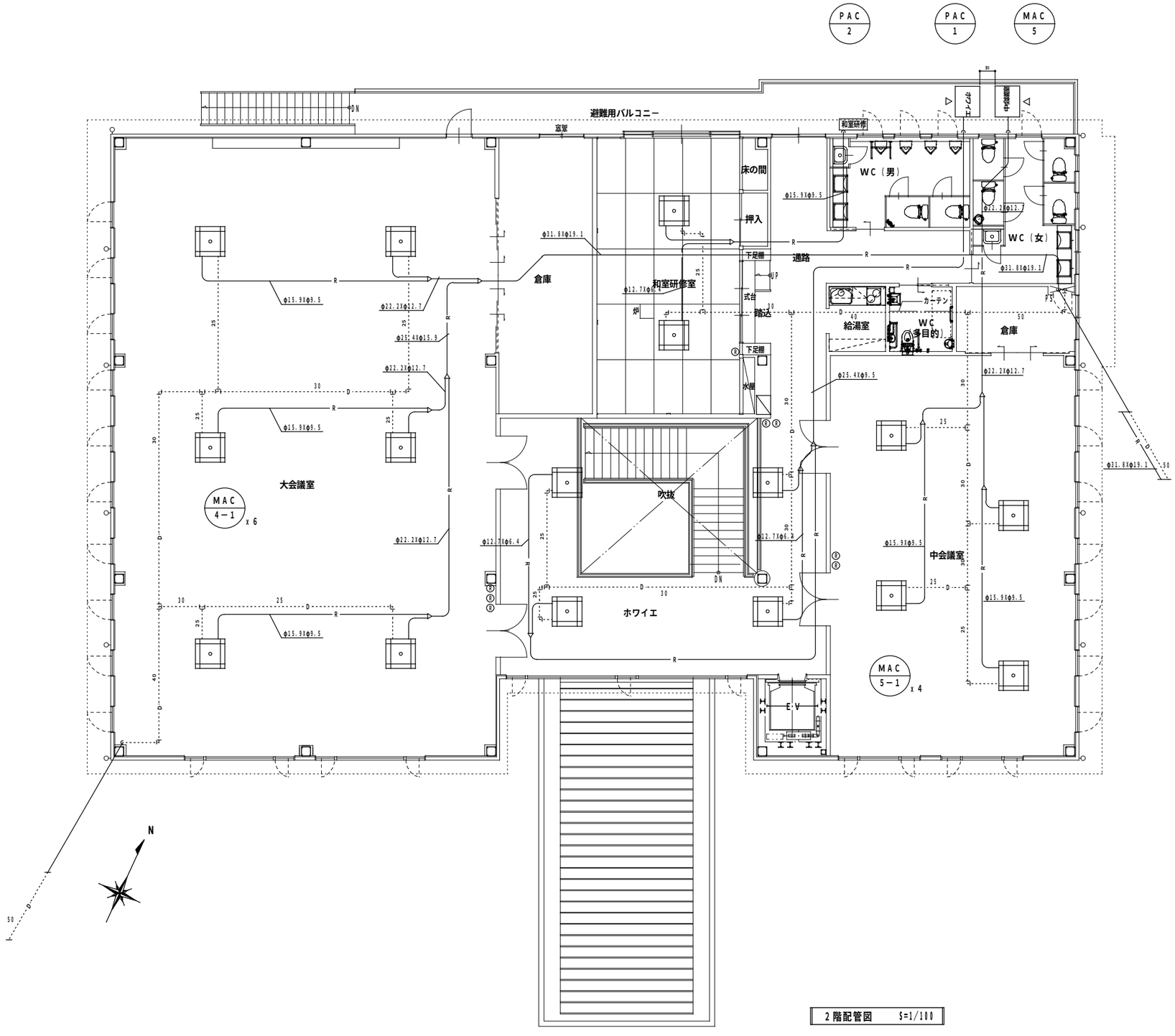


ＩＲＣ－ＮＫ相当品

厚さ８０mm以上の中空壁用
両面強化石こうボード重張

冷媒配管防火区画貫通処理図　　Ｎ：Ｓ

TITLE （仮称）新倉吉福祉センター建設工事（機械設備）	NAME 冷暖房設備　１階配管図	DATE H25.5	SCALE A2 1/100 A3 1/141	代表設計者　（一級建築士登録２９９６９号）村中耕作 担当者　翼設備設計　竹田明義		共同企業体名称 匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　一級建築士登録２９９６９号　村中耕作	09－M－14



2階配管図　S=1/100

TITLE	NAME	DATE	SCALE			
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（機械設備）	冷暖房設備　2階配管図	H25．5	A2　1／100 A3　1／141	代表設計者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作 担当者　　翼設備設計　竹田明義		

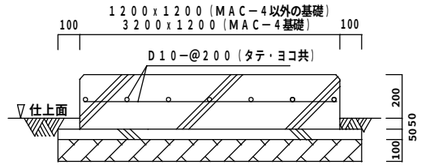
共同企業体名称
匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体
代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799
一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　　一級建築士登録２９９９６９号　村中耕作

10－M－14

冷暖房設備機器表

記号	名称	JIS条件		室内機	室外機		電源		付属品	台数
				FAN	FAN	COMP				
		冷房能力 (kw)	暖房能力 (kw)	定格出力 (kw)	定格出力 (kw)	定格出力 (kw)	相 (φ)	出力 (V)		
MAC-1	マルチ空調室外機	28.0	31.5		1.0	3.1×2	3	200	コンクリート基礎 (1200X1200X200H) 既製品架台（溶融亜鉛メッキ）300H	1
MAC-1-1	マルチ空調室内機　4方向天井カセット	7.1	8.0	0.06			1	200		4
MAC-2	マルチ空調室外機	28.0	31.5		1.0	3.1×2	3	200	コンクリート基礎 (1200X1200X200H) 既製品架台（溶融亜鉛メッキ）300H	1
MAC-2-1	マルチ空調室内機　4方向天井カセット	7.1	8.0	0.05			1	200		4
MAC-3	マルチ空調室外機	33.5	37.5		1.0	4.2×2	3	200	コンクリート基礎 (1200X1200X200H) 既製品架台（溶融亜鉛メッキ）300H	1
MAC-3-1	マルチ空調室内機　4方向天井カセット	9.0	10.0	0.06			1	200		4
MAC-4	マルチ空調室外機	68.0	76.5		1.0 1.0 1.0	2.3×2 2.3×2 2.3×2	3	200	コンクリート基礎 (3200X1200X200H) 既製品架台（溶融亜鉛メッキ）300Hx3	1
MAC-4-1	マルチ空調室内機　4方向天井カセット	11.2	12.5	0.120			1	200		6
MAC-5	マルチ空調室外機	28.0	31.5		1.0	3.1×2	3	200	コンクリート基礎 (1200X1200X200H) 既製品架台（溶融亜鉛メッキ）300H	1
MAC-5-1	マルチ空調室内機　4方向天井カセット	7.1	8.0	0.06			1	200		4
PAC-1	パッケージエアコン 同時ダブルツイン　4方向天井カセット	20.0	22.4	0.014 x4台	0.6	4.3	3	200	コンクリート基礎 (1200X1200X200H) 既製品架台（溶融亜鉛メッキ）300H	1
PAC-2	パッケージエアコン 同時ツイン　4方向天井カセット	10.0	11.2	0.014 x2台	0.1x2	2.5	3	200	コンクリート基礎 (1200X800X200H) 既製品架台（溶融亜鉛メッキ）300H	1
AC-1	ルームエアコン　壁掛け	2.2	2.2	0.06	0.03	0.75	1	100	タイカ゛ーヘ゛ース基礎 (500L) 既製品架台（溶融亜鉛メッキ）300H	4
AC-2	ルームエアコン　壁掛け	5.6	6.7	0.06	0.043	1.5	1	200	タイカ゛ーヘ゛ース基礎 (500L) 既製品架台（溶融亜鉛メッキ）300H	1
AC-3	ルームエアコン　壁掛け	3.6	4.2	0.06	0.043	0.95	1	100	タイカ゛ーヘ゛ース基礎 (500L) 既製品架台（溶融亜鉛メッキ）300H	2
AC-4	ルームエアコン　壁掛け	2.5	2.8	0.06	0.043	0.75	1	100	タイカ゛ーヘ゛ース基礎 (500L) 既製品架台（溶融亜鉛メッキ）300H	1
AC-5	ルームエアコン　壁掛け	4.0	5.0	0.06	0.043	1.1	1	200	タイカ゛ーヘ゛ース基礎 (500L) 既製品架台（溶融亜鉛メッキ）300H	2

※　冷媒管屋外露出部分は市販品樹脂カバーとする。
※　操作線、リモコン工事は本工事とする。



室外機基礎参考図　S＝1／20

TITLE
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（機械設備）

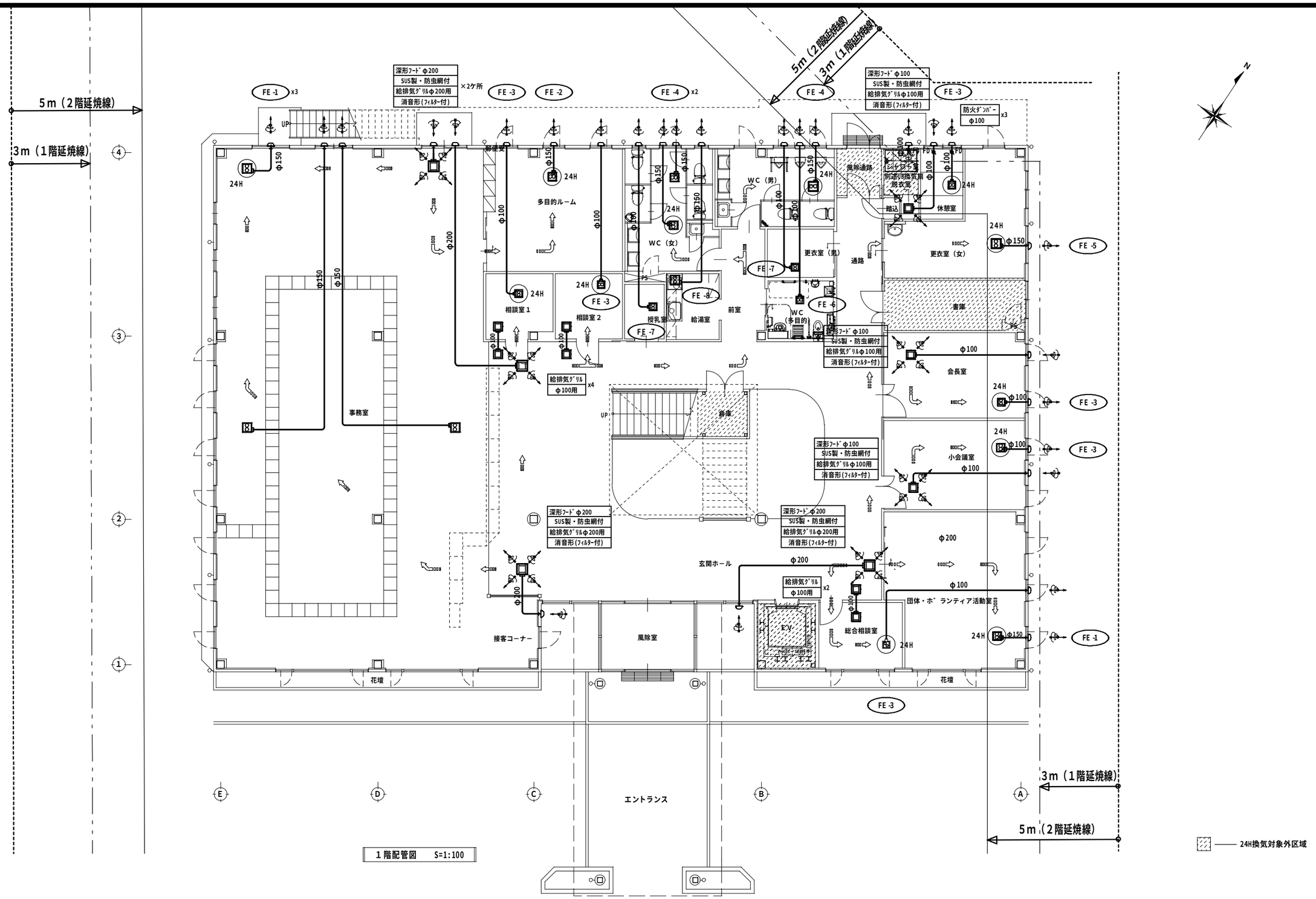
NAME
冷暖房設備　冷暖房設備機器表

DATE
H25．5

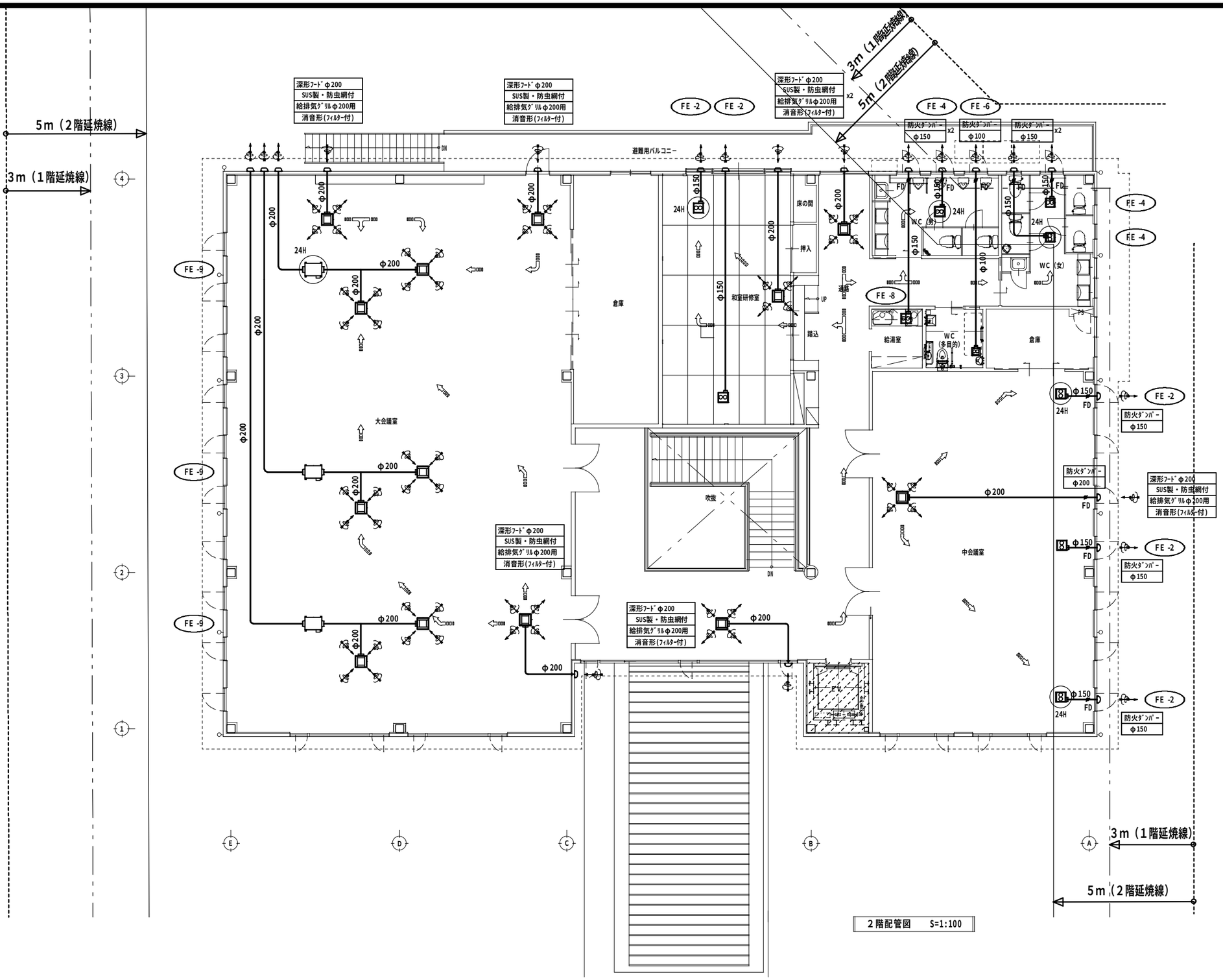
SCALE

代表設計者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作
担当者　翼設備設計　竹田明義

共同企業体名称
匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体
代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799
一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　　一級建築士登録２９９９６９号　村中耕作



TITLE （仮称）新倉吉福祉センター建設工事（機械設備）	NAME 換気設備　１階配管図	DATE H25.5	SCALE A2 1/100 A3 1/141	代表設計者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作 担当者　　翼設備設計　竹田明義		共同企業体名称 匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　　一級建築士登録２９９９６９号　村中耕作	12—M—14



TITLE	NAME	DATE	SCALE			
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（機械設備）	換気設備　2階配管図	H25.5	A2 1/100 A3 1/141	代表設計者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作 担当者　　翼設備設計　竹田明義		

共同企業体名称
匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体
代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799
一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　　一級建築士登録２９９９６９号　村中耕作

13 M 14

換気設備機器表

記号	名称	仕様			電気容量 φ	電気容量 消費電力	階数 1階	階数 2階	数量
FE-1	天井埋込形	低騒音 ｲﾝﾃﾘｱ格子ﾀｲﾌﾟ	風量 310m³/h（強）x44Pa	130m³/h（弱）x10Pa	1φ -100V	40.5W	4		4
FE-2	天井埋込形	低騒音 ｲﾝﾃﾘｱ格子ﾀｲﾌﾟ	風量 230m³/h（強）x21Pa	110m³/h（弱）x6Pa	1φ -100V	28.5W	1	5	6
FE-3	天井埋込形	低騒音 ｲﾝﾃﾘｱ格子ﾀｲﾌﾟ	風量 120m³/h（強）x46Pa	50m³/h（弱）x10Pa	1φ -100V	20.0W	6		6
FE-4	天井埋込形	低騒音 格子ﾀｲﾌﾟ	風量 330m³/h（強）x42Pa	130m³/h（弱）x13Pa	1φ -100V	43.0W	3	3	6
FE-5	天井埋込形	低騒音 格子ﾀｲﾌﾟ	風量 240m³/h（強）x24Pa		1φ -100V	28.5W	1		1
FE-6	天井埋込形	低騒音 格子ﾀｲﾌﾟ	風量 140m³/h（強）x50Pa		1φ -100V	23.0W	1	1	2
FE-7	天井埋込形	低騒音 格子ﾀｲﾌﾟ	風量 70m³/h（強）x14Pa		1φ -100V	9.8W	2		2
FE-8	深形レンジフード	巾 60cmタイプ	風量 420m³/h（強）x98Pa		1φ -100V	81.0W	1	1	2
FE-9	ダクトファン	消音形 ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	風量 600m³/h（強）x139Pa	380m³/h（弱）x59Pa	1φ -100V	65.0W	3		3
			給排気ｸﾞﾘﾙφ200用（消音形）×2ケ						
	給排気グリル	消音形（フィルター付）	φ200 深形ﾌｰﾄﾞφ200（SUS製・防虫網付）				4	6	10
	給排気グリル	消音形（フィルター付）	φ100 深形ﾌｰﾄﾞφ100（SUS製・防虫網付）				3		3
	給排気グリル		φ100				6		6

※ 機器表の排気量は圧損損失後の数値を示す。
排気機による排気風量数値及び換気扇風量特性表は最大損失の部屋のものとする。

凡例

記号	名称	仕様
———	スパイラルダクト	
	天埋換気扇	
24H	天埋換気扇	24H対応換気扇
24H	ダクトファン	24H対応換気扇
	深形フード	SUS製（防虫網付）
	吹出口	
	吸込口	
		24H対象外場所

相談室(1)・(2)換気計算

V=20Af/N　　V:必要換気量(m3/h)　Af:6.89m2　N:6.89m2/4人

V=20x6.89/(6.89/4)=80m3/h ＜ 120m3/h (FE-3) ---------- OK

授乳室

V=20Af/N　　V:必要換気量(m3/h)　Af:4.16m2　N:4.16m2/2人

V=20x4.16/(4.16/2)=40m3/h ＜ 70m3/h (FE-7) ---------- OK

火気仕様換気計算

※ 1階給湯室・2階給湯室

V=K・Q=40X0.93m3/kwhX11.2kw（5号湯沸器）

=416.64m3/h　420m3/h (FE-8) ---------- OK

TITLE	NAME	DATE	SCALE			
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（機械設備）	換気設備　換気設備機器表	H25.5	NO SCALE	代表設計者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作		
				担当者　　翼設備設計　竹田明義		

共同企業体名称
匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体
代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799
一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　一級建築士登録２９９９６９号　村中耕作